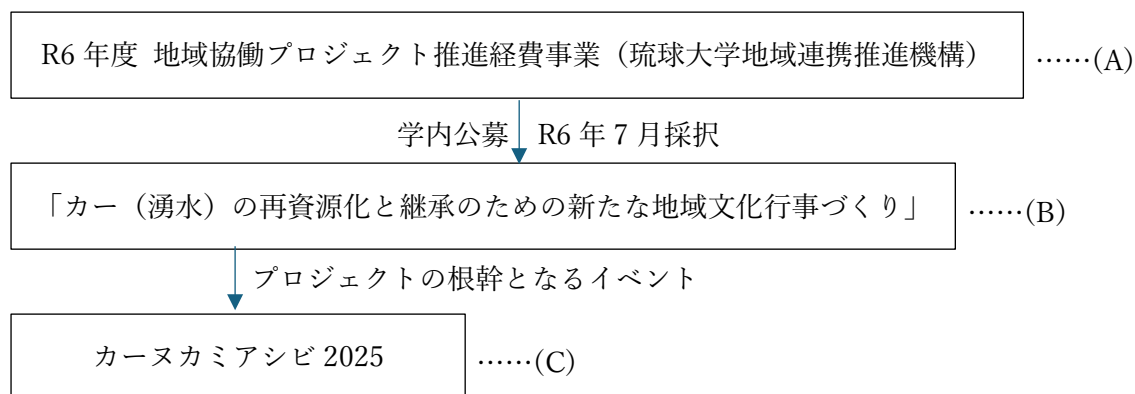


③「カーヌカミアシビ」の開催について

〈本日まで説明するイベントの背景〉



(A)地域の産学官等が保有する多様な資源を活用し、地域課題の解決や地域・産業振興に資する持続可能な地域協働循環型モデル創出に繋がるプロジェクトを支援する事業。

事業実施責任者は本学の専任教員に限っており、同人が所属する部局等の長が統括責任者となる。

(B)このプロジェクトは、各地で地域課題となっているカーの維持・継承問題の解決を目指すものである。地域資源にまつわる活動は、単発で終わるのではなく、地域文化と言えるものとして定着してこそ、本当の意味での地域課題の解決策になると言える。このような、地域資源の価値の再共有を促す新たな地域文化行事づくりの、実践モデルを創出することを本プロジェクトは目指す。

（事業期間：R6年8月～R7年3月）

事業代表者：越智正樹（国際地域創造学部・教授）

事業メンバー：島袋美由紀（人文社会科学部研究科・博士後期課程院生）、土岐知弘（理学部・准教授）

（学外協力団体：地域団体 SU-TE（宮城島）ほか4組織・団体）

(C)本学ではかつて「水の環でつなげる南のくらしプロジェクト」（H29年度～）にて、島しょ地域の水循環に関する科学研究を域学協働で執り行っていた。

同プロジェクト終了後にも、メンバーの一部がボランタリーに、水資源にかかわる域学連携活動を続けていた。その一環として R4 年、うるま市シマダカラ芸術祭と連動し、宮城島の地域団体 SU-TE とともに「カーヌカミアシビ」アートプロジェクトを実施した。

これを（(B)にも記したように）単発で終わらせずに「地域文化」として継承していけるように、改良を加えつつ改めて実施するのが、「カーヌカミアシビ 2025」である。詳細は次の資料にて説明する。

「カーヌカミアシビ 2025」

うるま市宮城島における湧水保全と文化継承の新たな地域行事を「世界の水の日」に開催

うるま市与那城宮城島にて、湧水の保全と継承を目的とした新たな地域行事「カーヌカミアシビ」を、国際的に水資源の重要性を見つめ直す「世界の水の日(World Water Day)」*に合わせて開催します。

本行事は、島の豊かな湧水環境と伝統文化を活かした多彩なプログラムを通して、地域住民と来訪者が共に水を祝い、カー（湧水）と人々のつながりを再認識することで、その価値を次世代へと伝えていくことを目的としています。

また、本行事は地域の恒例行事化を目指しており、その基盤づくりとして琉球大学令和 6 年度戦略的地域連携推進経費地域協働プロジェクト推進事業「カー（湧水）の再資源化と継承のための新たな地域文化行事づくり」の支援を受けています。

*毎年 3 月 22 日に行われる国際的な記念日。1993 年に国連総会により定められ、水資源の大切さを再認識し持続可能な水の管理や水問題の解決を促進することを目的としています。

■ 「カーヌカミアシビ」とは

「カーヌカミアシビ」は「カー（湧水）の神と遊ぶ」という意味です。カーは、水道が普及するまで住民の暮らしを支え、交流の場としても重要な役割を果たしてきました。また、神が宿る神聖な場所として信仰され、祭祀が行われてきた聖地でもあります。

本行事では、地域住民が主体となり、カーを活かしたさまざまなプログラムを企画し、来訪者とともに文化体験を楽しめる場を提供します。また、「世界の水の日」に合わせて開催することで、地域内外へ向けて身近な水資源の大切さを広く発信していきます。

■ 開催概要

名 称：カーヌカミアシビ 2025

会 期：2025 年 3 月 20 日（木）～3 月 23 日（日）

会 場：あごーりば食堂ほか

入場料：無料（一部プログラムは参加費あり）

定 員：カーヌ水アシビ①②、うちなー芝居「カーヌカミアシビ」は要事前申込

主 催：カーヌカミアシビ実行委員会

共 催：地域団体 SU-TE

協 力：上原自治会、宮城自治会、宮城こども広場、（一社）プロモーションうるま
沖縄地域公共政策研究会すいまーるプロジェクト

■ 主なプログラム ※定員制のプログラムは地域住民が優先されます

1. カーヌ写真展、お水くじ（会期中）

2. カーまーい（3 月 21 日・23 日）

*住民ガイドによる上原集落のカー散策

3. ウンデークを聞く会（3 月 20 日） 定員 30 名

*1982 年に宮城島で収録されたウンデークの音源を聞きながら語らう会

4. ブクブク茶体験会（3月20日） 定員 10 名

＊宮城島にもブクブク茶の伝承があった！といわれていますが真相はいかに…

5. カーヌ水アシビ①（3月21日） 定員 20 名

＊子ども（親子）を対象にしたワークショップ

6. カーヌ水アシビ②（3月22日） 定員 15 名

＊人類学者・コンテンポラリーダンサーのジャミラ・ロドリゲス氏による、カーの水を使ったコンタクト・インプロビゼーション・ワークショップ

7. うちなー芝居「カーヌカミアシビ」（3月22日・23日）※雨天中止 定員各 50 名

＊SU-TE の愉快的仲間たちとうちなーぐち演劇集団「比嘉座」のコラボレーションによる創作うちなー芝居「カーヌカミアシビ」公演

プログラム（変更の可能性もあります）

日 程	午 前	午 後	随 時
3 月 20 日（木） 春分の日	11:00～ ウシデークを聞く会	14:00～ ブクブク茶体験会	・カー写真展 ・お水くじ
3 月 21 日（金）	10:00～ カーまーい	14:00～ カーヌ水アシビ①	・カー写真展 ・お水くじ
3 月 22 日（土） 世界水の日	11:00～ カーヌ水アシビ②	15:00～ 芝居「カーヌカミアシビ」	・カー写真展 ・お水くじ
3 月 23 日（日）	10:00～ カーまーい	15:00～ 芝居「カーヌカミアシビ」	・カー写真展 ・お水くじ

■ 本行事への想い

世界的に水資源の重要性が問われる中、宮城島のカーもまた地域にとって貴重な財産です。「世界の水の日」に開催する「カーヌカミアシビ」を通じて身近な水をあらためて見つめ直し、カーを中心に育まれた地域文化の継承と未来創りに貢献していきます。

地域の皆さまをはじめ、多くの方々のご参加を心よりお待ちしております。

カヌカミアシビ

島豊かな湧水を祝う

2025

みやこ

*この行事は、琉球大学令和6年度戦略的地域連携推進経費地域協働プロジェクト推進事業「カー（湧水）の再資源化と継承のための新たな地域文化行事づくり」の支援を受けています。